

スポーツ振興基金助成 助成活動報告書
(スポーツ団体大会開催)
2012

| | | | |
|----------|--|---|-------------|
| 助成活動細目 | 競技会開催 (スポーツ普及活動) | | |
| 活動名 | NFLフラッグフットボール日本選手権大会2012 | | |
| 区分 | <input type="checkbox"/> 国際大会等 <input checked="" type="checkbox"/> 全国的大会等 | | |
| 内容 | 開催会期 | 平成24年8月11日 (土) ~ 8月12日 (日) (2日間) | |
| | 開催場所 | 岡山県 岡山市 岡山ドーム | |
| | 参加要件 | 東西日本大会 上位2チーム (小学生低学年のみ1チーム) | |
| | 参加人数 | 約250人 | |
| | 実施方法 | <ul style="list-style-type: none"> ・大会はトーナメント制で行った。(全18試合) ・大会運営は2日間を、役員1名、スタッフ11名の外、審判員42名、常勤事務職員2名で行った。 ・大会の広報は、プログラムを作成し、ホームページに掲載 ・各カテゴリー競技成績上位2チームを表彰 ・大会実施後に、大会報告書を作成し、ホームページに掲載 | |
| | ○事業の第三者への委任(事務委託等)の有無 | <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 | |
| 活動の成果 | <p>フラッグフットボールの日本大会は過去地方都市で開催された実績が殆どなく、今回のNFLフラッグフットボール日本選手権大会を岡山県岡山市で開催したことは本競技の新たな歴史の1ページとなった。同県で開催したことで岡山県内のチームのモチベーションが高まり、一般の部における男子の準優勝、女子の4位入賞など大きな躍進に繋がった。全国の予選参加チーム数は全5カテゴリー合計で222チームであり、これは昨年度の179チームを大きく上回るものである。昨年度と申込みや予選会の仕組みを改善し、全国の制度を一本化したことによるところが大きい。多くのチームがこの決勝大会に憧れを持ち、本大会に参加したいと願ったことが明確に証明された。全国への振興に先駆けて中国地方に新たな芽を生み出すことができ、またチーム数の拡大にも繋がるというニュースポーツの新たな実績となる大会となった。</p> | | |
| 活動に対する評価 | <p>大会の開催にあたり、予定していた試合、運営は全てにおいて実施することができた。特に主要会場の外の予備会場も確保できたことで出場全チームのウォーミングアップの場所も準備され、極めてスムーズな運営となった。また、開催地である岡山県近郊からボランティアの方々を多々募ることができ、交通費など最終的に当初の予算計画より低い予算で実施できることとなった。また、運営に慣れた有力な支援者が多く集まり、想定よりも少ない人数で運営ができたことも新たな事例となった。これらは大会の開催日が盆の時期に重なっていたことで、結果的に中心となる支援者の方々が休みを取りやすく、運営に参加できたことに起因したものと思われる。地方開催の最大の課題であった人員の整備を、必要最低限のコストで十分に確保することができたことによって効率的な大会運営を実現することができた。</p> | | |
| 収支計算書 | (収入) (単位:円) | | |
| | 科目 | 金額 | 備考 |
| | 基金助成金 | 1,263,000 | スポーツ振興基金助成 |
| | 自己負担金 | 483,746 | 協会自己負担金 |
| | スポンサー協賛金 | 366,491 | |
| | 合計 | 2,113,237 | |
| | (支出) (単位:円) | | |
| | 科目 | 金額 | 備考 |
| | 諸謝金 | 715,000 | 運営及び審判謝礼金 |
| | 旅費 | 702,290 | 運営及び審判旅費交通費 |
| | 借料及び損料 | 130,885 | 会場賃借料 |
| | 消耗品費 | 76,774 | 飲料費など |
| | スポーツ用具費 | 245,000 | 大会用具費 |
| | 印刷製本費 | 24,200 | プログラム印刷費 |
| | 雑役務費 | 183,311 | トロフィー代など |
| その他 | 35,777 | 保険代など | |
| 合計 | 2,113,237 | | |